



公民館コーナー

シリーズ・家庭教育について

社会教育指導委員・宇野克彰氏

家庭とは、基本的な人間形成の場、優しさ、耐性、正義感、人間らしい

情感を育てるのが基本であり、また、生活習慣や行動への節度を学ばせ、自

心を養う場として、また、生活と勤労に対する

真剣な態度、信頼感、忍耐力、

自立心、存在感、連帯感、責任感

の形成の場でもあります。

しかし、今家庭では、過保護、

甘やかしなど、子どもたちにと

って誤った場をつくっていきま

るか。

ですから子どもたちは、自分で決断することができない

——自主性が失われているのです。中でも最も問題なのは、

耐性を失っている点です。

物は豊富で欲しなければ必ず手に入るという、

日常生活に慣れていることから、わ

がままで、耐性なしの子どもが増え

てきているのです。

このことが無くな

らない限り、子どもたちの非行、校

内暴力、家庭内暴力は無くならない

と思います。

みなさんの家庭ではどうでしょう。

家庭の中で、本

当に我慢させる力を身につかせてい

ますか。物を欲しいという一番単純

な欲望を抑える「耐性」を具備するこ

子どもにとって家庭とはなに？

な責任があります。

適度な貧しさがあってこそ、子どもはしっかりと成長していくのです。過保護は、子どもたちを駄目にしていきます。

これからは、世話をし過ぎず、できることは何でもやらせるように心がけましょう。

図書の寄贈

屋形（南川岸）の渡邊千鶴子さんより図書約千冊を寄贈していただきました。

公民館図書として、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



図書室はたくさんの本が置いてあります

新刊案内

公民館図書



幽霊屋敷の電話番号

作・赤川次郎

ホームシック・ベイビー

作・生島治郎

無名時代

作・阿久悠

にぎやかな大地

作・山下惣一

那須与一上・下巻

作・谷恒生

お金、この神秘なるもの

作・ジェイコブ・ニードルマン

このほか、いま話題のものなど、月30冊の新刊がみなさんのお越しをお待ちしています。

